

**超望遠 2000 mm 相当(35mm 判換算)の手持ち撮影が可能になる
「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」と
「M.ZUIKO DIGITAL 2x Teleconverter MC-20」の開発について**

オリンパス株式会社(社長: 笹 宏行)は、「マイクロフォーサーズシステム規格」に準拠の「M.ZUIKO PRO」シリーズ、1.25倍テレコンバーターを内蔵し、300-1000mm^{※1}相当(35mm 判換算)の幅広い焦点距離をカバーする超望遠ズームレンズ「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」とテレコンバーター「M.ZUIKO DIGITAL 2x Teleconverter MC-20」の開発を進めています。両製品を組み合わせることで、2000mm 相当(35mm 判換算)の超望遠での手持ち撮影が可能になります。また、2019年2月28日(木)からパシフィコ横浜で開催される、カメラと写真の総合展示会「CP+」(シーピープラス)にデザインモックアップを参考出品いたします。

オリンパスはマイクロフォーサーズシステムの特長である高画質と小型軽量による圧倒的な機動性を最大限に活かし、さらなる超望遠撮影を可能にするレンズラインナップを拡充いたします。

●開発製品の概要

カテゴリー	製品名	希望小売価格	発売予定時期
交換レンズ	「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」	未定	2020年
テレコンバーター	「M.ZUIKO DIGITAL 2x Teleconverter MC-20」		2019年夏



「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」



「M.ZUIKO DIGITAL 2x Teleconverter MC-20」

※1 内蔵テレコンバーター使用時。開放絞り値は F5.6。

「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」は、高い光学性能と小型軽量、防塵防滴、耐低温(-10℃)性能を備える優れた機動性を追求して開発を進めている「M.ZUIKO PRO」シリーズの超望遠ズームレンズです。オリンパスの交換レンズとして初めて 1.25 倍のテレコンバーターをレンズ本体に内蔵し、瞬時に焦点距離を最長 1000 mm^{※1}相当(35mm 判換算)まで拡大できます。また、レンズ内手ぶれ補正機構を搭載しており、カメラ本体の手ぶれ補正機構と協調して動作する「5 軸シンクロ手ぶれ補正」^{※2}にも対応します。コンパクトなシステムによる圧倒的な機動性、テレコンバーター内蔵による利便性により、スポーツや野鳥など撮影に最適な超望遠ズームレンズです。なお、本製品は 2020 年の発売を予定しています。

「M.ZUIKO DIGITAL 2x Teleconverter MC-20」は、高い機動性、防塵防滴、耐低温(-10℃)性能を備え、マスターレンズの焦点距離を 2 倍にするテレコンバーターです。開発中の「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」をはじめ、「M.ZUIKO DIGITAL ED 300mm F4.0 IS PRO」、「M.ZUIKO DIGITAL ED 40-150mm F2.8 PRO」に装着することが可能です。望遠域の拡張のみならず、マスターレンズの最大撮影倍率も 2 倍になり、今までにない超望遠マクロ撮影を実現します。本製品は 2019 年夏の発売を予定しています。



オリンパスは本年 10 月 12 日に創立 100 周年を迎えます。
これまで当社の発展を支えてくださったお客さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。これからも世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を通して、社会に貢献してまいります。

仕様については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

※2 対応機種に関しては、製品発表時に情報を公開させていただきます。